



一般社団法人

日本放射線看護学会 第13回学術集会

放射線看護の黎明と創設期から 発展と進化に挑む

Challenging Radiological Nursing's Development and Progress
from its Beginning and Establishment

抄 録 集

会 期

令和6年 9月14日^土・15日^日

会 場

鹿児島大学稻盛会館
キミ&ケサメモリアルホール

学術集会長

松成 裕子

鹿児島大学医学部保健学科
兼任 地域防災教育研究センター



一般社団法人

日本放射線看護学会 第13回学術集会

放射線看護の黎明と創設期から 発展と進化に挑む

Challenging Radiological Nursing's Development and Progress
from its Beginning and Establishment

抄 録 集

会 期

令和6年 9月14日(土)・15日(日)

会 場

鹿児島大学稲盛会館
キミ&ケサメモリアルホール

学術集会長

松成 裕子 鹿児島大学医学部保健学科
兼任 地域防災教育研究センター

学術集会
事務局

鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻 基幹看護学講座内
第13回日本放射線看護学会学術集会

〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ケ丘八丁目35-1 TEL&FAX 099-275-6754

共 催
事務局

鹿児島大学地域防災教育研究センター

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号 TEL 099-285-7234

<https://bousai.kagoshima-u.ac.jp>

運 営
事務局

学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188 FAX 096-373-9191 E-mail: rnsj13@higo.co.jp

INDEX

ご挨拶	1
学術集会に参加される方へのご案内	2
発表者・座長の方へのご案内	4
会場へのアクセス	7
施設全体図	8
会場案内図	9
日 程 表	10
プログラム	
1日目 《9月14日(土)》	12
講演、シンポジウム、交流集会、展示	
2日目 《9月15日(日)》	14
シンポジウム、セミナー、ワークショップ、 ランチョンセミナー、交流集会、 よろず相談 cafe、展示	
一般演題(口演)	17
抄 録	
学術集会長プロローグ	24
鼎 談	26
基調講演	28
シンポジウム	30
シンポジウム	34
日本放射線看護学会と 日本放射線技術学会との共同企画	38
編集委員会企画	40
ランチョンセミナー	42
市民講座 防災セミナー	44
市民講座 防災ワークショップ	48
交流集会	50
一般演題(口演)	60
企画委員・実行委員名簿	99
協賛企業一覧	100

ご 挨拶

一般社団法人日本放射線看護学会 第13回学術集会

学術集会長 松成 裕子

鹿児島大学 医学部 保健学科
兼 地域防災教育研究センター

この度、一般社団法人日本放射線看護学会第13回学術集会を令和6年9月14日(土)、15日(日)に鹿児島大学郡元キャンパス会場にて開催させていただくことになりました。

開催に当たり、多くの皆様のご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

今回の本大会では、メインテーマを「放射線看護の黎明と創設期から発展と進化に挑む」とし、放射線看護の黎明と創設期に多大なる功績をあげられた先生方の鼎談を行います。そして、基調講演では、「がん看護 CNS としての役割の遂行、拡大を図った経験から放射線看護専門看護師への期待」というテーマに沿って、三浦浅子先生からがん専門看護師として放射線看護の高度実践看護師教育課程に学ぶ学生達のモデルとなり、導いてくださった実績から、放射線看護専門看護師の可能性についてご講演いただきます。そして、シンポジウムでは、放射線診療の現場において、多職種と連携し、医療の多様な側面に深く関わり、患者ケアにおいて不可欠な役割を果たしている看護師たちにそれぞれの領域の専門性やそこでの調整、連携の役割の果たし方などを話してもらいます。また、最先端の ETHOS 装置を活用し、活躍なさる放射線腫瘍医、IVR の現場と原子力災害拠点病院で被ばく医療の進化に尽力する医師、放射線教育、放射線防護研究者として放射線看護専門看護師の教育に貢献くださった薬剤師の先生に「誕生した放射線専門看護師への期待」を含めて看護師の実践に期待することを語っていただきます。

他にも、日本放射線技術学会共同セミナー、それから、15日午後からは一般公開し、市民講座としまして、環境省、本学地域防災教育研究センターとの共催による放射線リスクコミュニケーションのセミナー、さらに、鹿児島県診療放射線技師会、本学地域防災教育研究センターとの共催による放射線リスクコミュニケーションのワークショップを予定しています。

また、本学術集会には、皆様より交流集会9題、一般演題40題を登録していただきました。このように、皆様方のご協力に感謝し、実りある2日間となりますように、そして、この集会を通じて、私たちは放射線看護の現状を理解し、未来に向けての新たな道を切り開く機会を持てることを心より嬉しく思います。

参加者の皆様にとって有意義で記憶に残る学術集会となるよう、願いたします。

学術集会に参加される方へのご案内

1. 受付

場 所：稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール

時 間：1日目 9月14日(土) 8:45～16:00

2日目 9月15日(日) 8:40～12:00

2. 事前登録の方

当日の受付手続きは不要です。事前送付されているメールから、ネームカード兼参加証をダウンロードいただき、印刷の上、必ずご持参ください。ネームホルダーを準備しておりますので、必要事項を記載し、会場内ではネームカードをつけてください。

3. 当日参加申し込みをされる方

当日受付にて学会参加費を納入してください(現金のみ、カードでのお支払いはできません)。参加費と引き換えに参加証兼領収書、抄録集用 URL とパスワード、ネームカードをお渡しします。ネームホルダーを準備しておりますので、必要事項を記載し、会場内ではネームカードをつけてください。

会 員：9,000円

非会員：10,000円

学 生：1,000円(社会人大学院生を除く)

4. クローク

場 所：稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール クローク

時 間：1日目 9月14日(土) 8:30～16:45

2日目 9月15日(日) 8:30～16:00

その他：係の指示に従ってください。なお、貴重品や生ものを預かることはできません。

5. ランチョンセミナー《9月15日(日)のみ》

ランチョンセミナーの整理券は、学術集会の参加登録がお済の方に、受付横のランチョンセミナー受付で先着順にお一人様一枚限りとし、配布いたします(110食)。

整理券配布時間：9月15日(日) 8:45～

6. 会場内での飲食

講演会場内での飲食は禁止されております。なお、飲食が可能な場所として、土曜日のみ生協食堂を開放しておりますのでそちらをご利用下さい。また、医学部記念講堂1階ロビー、良順会館1階ホールでは飲み物のみ可能です。ご協力をお願いします。

7. その他

- 撮影、録音、録画は原則として禁止されておりますのでご協力ください。
- 会場内での携帯電話のご使用は固くお断りいたします。
- あらかじめ電源を OFF にするか、マナーモードに設定ください。
- 会場内および大学敷地内は禁煙です。
- 駐車場は準備しておりません。お車での来場はご遠慮ください。
- 会場での呼び出しはいたしません。
- ご不明な点がありましたら学術集会スタッフにお声をおかけください。
- 災害発生時は、学術集会スタッフの指示に従ってください。

8. 学会当日の緊急連絡先

後日、HP に掲載いたします。

発表者・座長の方へのご案内

(講演・シンポジウム・一般演題・交流集会等)

鼎談、基調講演、シンポジウムの演者の方・座長の方

- 各プログラム開始時間の30分前までには稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール入口の演者受付にお越しください。
- 演者受付にてご使用になるスライド用のファイルをご提出ください。受付可能なメディアはUSB フラッシュメモリーに限ります。必ずバックアップをご持参ください。また、提出の際に、動作確認をしていただきます。
- 発表の際には、原則として、学術集会事務局が準備したパソコン(PC)を使用させていただきます。PCのOSはWindows11、ソフトウェアはPowerPoint2019です。PowerPoint 2019形式対応のファイル(.pptx)でご準備下さい。Macユーザーの方で希望があればご自身のPCでの発表が可能ですが、会場内はHDMIのみ対応しておりますので、必要時ご自身のコネクターをご準備ください。
- 発表に関連する利益相反(COI)の有無については、発表スライド等での開示をお願いいたします。
- 受付で保存したデータは、学術集会終了後に事務局の責任のもとで消去します。
- 座長と演者とで事前打ち合わせがございますので、指定の時間までに受付にお越しください。

一般演題座長・発表者の方

《座長の方》

- 担当の発表群開始時間の5分前までに会場にお越しいただき、会場内前方にいるスタッフにご到着の旨お伝えいただき、「次座長席」にご着席ください。
- 1演題10分(口演7分、質疑応答3分)です。時間厳守でお願いします。
- タイムキーパー係が1分前と終了時にお知らせします。
- 発表者が欠席の場合は、繰り上げて発表を進行してください。

《一般演題(口演)発表者の方》

1. 発表ファイルの受付

- 発表群開始時間の60分前までには稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール入口の演者受付にお越しください。
- 演者受付にてご使用になるスライド用のファイルを担当者にご提出ください。受付可能なメディアはUSB フラッシュメモリーに限ります。必ずバックアップをご持参ください。また、提出の際に、動作確認をしていただきます。
- 発表の際には、学術集会事務局が準備したパソコン(PC)を使用させていただきます。PCのOSはWindows 11、ソフトウェアはPowerPoint2019です。PowerPoint 2019形式対応のファイル(.pptx)でご準備下さい。
- データのファイル名は「演題番号(半角)-氏名(漢字)」としてください。
- 受付で保存したデータは、学術集会終了後に事務局の責任のもとで消去します。
- 発表に関連する利益相反(COI)の有無については、発表スライド等での開示をお願いいたします。

2. 発表方法

- 発表群開始時間の10分前に、発表会場の次演者席に着席ください。
- 念のため、発表ファイル(データ)を保存した USB フラッシュメモリーを持参してください。
- セッション開始までに、氏名・演題名について座長と確認を済ませてください。
- 講演の発表時間は1演題10分(口演7分、質疑応答3分)です。時間厳守でお願いします。なお、タイムキーパー係が1分前と終了時にお知らせします。
- スライド操作は発表者ご自身で行ってください。
- 会場での資料配布はご遠慮ください。
- 発表者の変更がある場合は、発表ファイル受付時にお申し出いただき、座長にもお伝えください。
- 発表者の欠席が生じた場合は、時間を繰り上げて進行します。

3. 発表取り消し

当日、発表時刻に発表者が不在の場合は、発表取り消しとします。

交流集会の企画者の方

- 開始時間の5分前までに交流集会を実施する会場にお越しください。
- 会場内に設置してある PC を自身で操作し、ご使用になるスライドファイルをご準備ください。受付可能なメディアは USB フラッシュメモリーに限ります。必ずバックアップをご持参ください。
- 発表の際には、原則として、学術集会事務局が準備したパソコン(PC)を使用させていただきます。PC の OS は Windows 11、ソフトウェアは PowerPoint2019 です。PowerPoint 2019 形式対応のファイル(.pptx)でご準備下さい。Mac ユーザーの方でご希望があればご自身の PC での発表が可能です。会場内は HDMI のみ対応しておりますので、必要時ご自身のコネクタをご準備ください。
- 進行はお任せしますが、終了時間は時間厳守でお願いします。なお、机等移動した場合は、次の時間前に原状復帰をお願いいたします。

参加にあたってのお願い

- 本大会での会場内外への呼び出しは行いません。
- 講演会場では、携帯電話やアラーム付き時計などは、通知音がしない設定をお願いいたします。
- 講演会場では、本学術集会が許可した者以外の撮影・録音・録画は禁止になっております。会議場内、大学構内は全て禁煙です。
- 新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策を行います。会場へお越しいただく際は、手洗いなど感染防止策への十分なご理解とご協力を頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。また、発熱を伴う方は、ご来場をお断りいたします。

- 感染拡大予防の趣旨をご理解いただき、以下の通りご協力をお願いいたします。
 - ◇ 発熱症状や咳など体調がすぐれない方のご来場はお控えてくださいますようお願いいたします。
 - ◇ 37.5℃ 以上の方はご入場をお断りさせていただきます。
 - ◇ 各会場入口に消毒用アルコールを設置いたします。感染対策にご協力ください。
 - ◇ 会場にて万が一体調が悪くなった場合、我慢なせずに速やかにお近くのスタッフにお声がけください。
 - ◇ 対面・大声での会話はお控えくださいますようお願いいたします。

会場へのアクセス



■鹿児島市へのアクセス 鹿児島空港から鹿児島空港リムジンバスで鹿児島中央駅まで約40分

■郡元キャンパスへのアクセス ※()は最寄りの門

●市電 【1系】騎射場電停下車 徒歩約10分(正門、東門)

【2系】唐湊電停下車(西門)、工学部前電停下車(工学部門)

●市営バス【鹿児島中央駅経由】 10 高麗橋線 11 鴨池・冷水線 20 緑が丘・鴨池港線

..... 鹿大正門前または、法文学部前下車

●鹿児島交通【鹿児島中央駅経由】 18 大学病院線 19 紫原・桜ヶ丘五丁目行

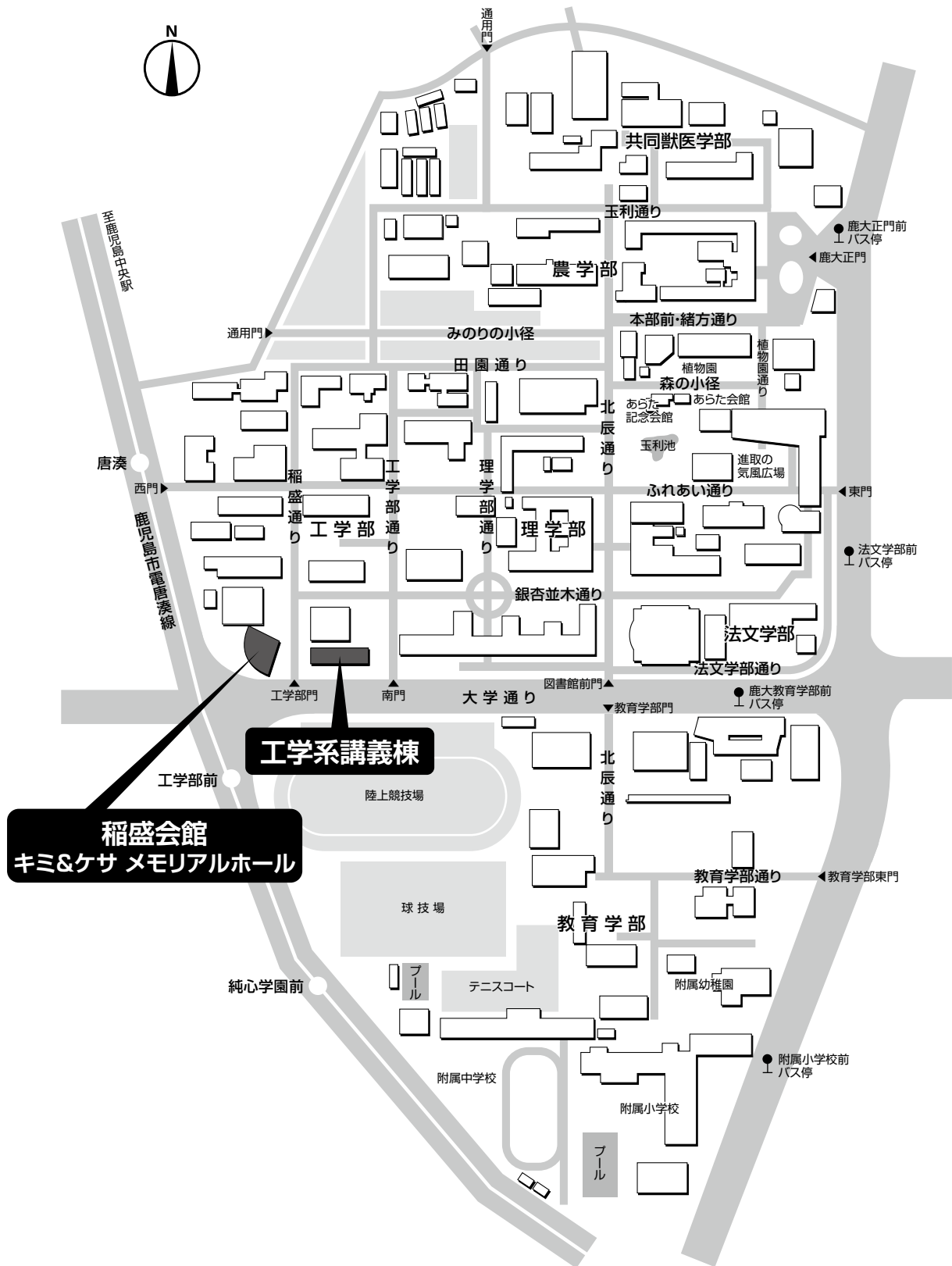
..... 鹿大正門前または、法文学部前下車

●南国交通【鹿児島中央駅経由】 30 県庁西・鴨池新町方面 鹿大教育学部前または、附属小前下車

39 武岡・鴨池港線 鹿大正門前または、法文学部前下車

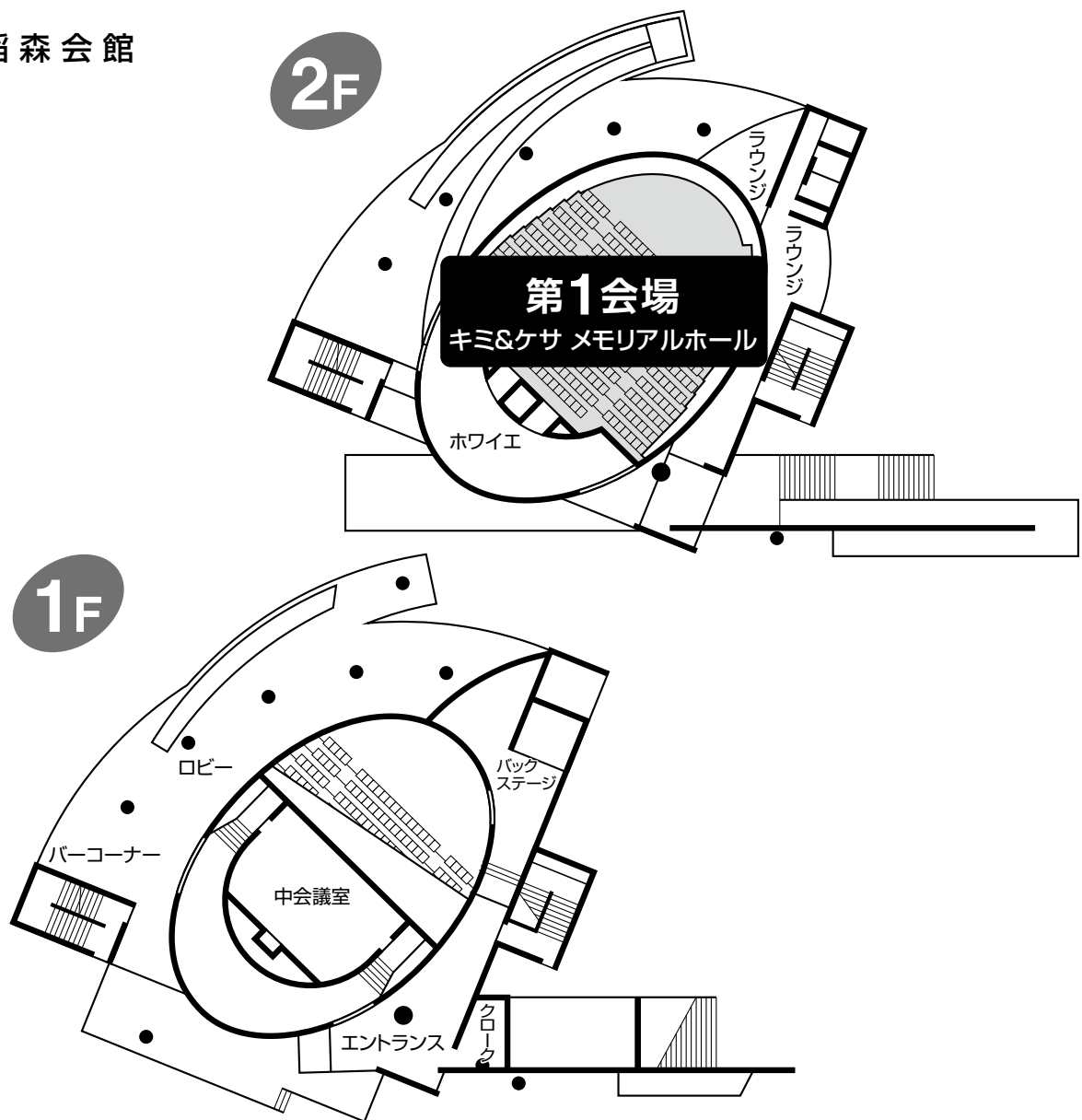
●徒 歩 鹿児島中央駅から市電2系通り沿いに歩いて約25分

施設全体図



会場案内図

稲森会館



工学系講義棟



1日目 9月14日(土)

	第1会場 稲盛会館 キミ & ケサメモリアルホール	第2会場 工学系講義棟 1F	第3会場 工学系講義棟 2F
9:00	9:05～9:25 学術集会長プロローグ	9:00～ 9:01～9:05 開会のことば オリエンテーション	
10:00	9:40～10:50 鼎 談 放射線看護の未来 草間 朋子 山下 俊一 吉田 浩二		
11:00	11:00～12:10 基調講演 がん看護 CNS として役割の 遂行、拡大を図った経験から 放射線看護専門看護師への期待 座長：野戸 結花、増島 ゆかり 演者：三浦 浅子	11:00～12:10 交流集会1 福島県浪江町における放射線 リスクコミュニケーションと 健康支援活動 企画：田中 和貴	11:00～11:50 □演発表1 [放射線教育] 座長：松尾 美香
12:00			
13:00	13:00～14:30 シンポジウム がん治療の最前線・IVR・ 被ばく医療から放射線専門看護師に 期待すること 座長：山口 拓允 演者：伊藤 宗一郎、入来 泰久、 松田 尚樹	13:00～14:00 交流集会2 放射線看護モデルシラバスの 活用に向けて ーモデル授業その5災害看護： 放射線・原子力災害と被ばく医療ー 企画：野戸 結花	13:00～13:50 □演発表2 [放射線治療] 座長：土橋 仁美
14:00			
15:00	14:30～15:30 □演発表3 [認定看護師の活動・高度実践] 座長：守屋 靖代	14:30～15:30 交流集会3 放射線看護におけるプライマ リー診療看護師の課題と連携に ついて考える 企画：安部 涼子	14:30～15:30 □演発表4 [原子力災害] 座長：佐藤 良信
16:00	15:30～16:30 交流集会4 看護師が実施している 放射線看護教育の現状と未来 企画：佐藤 裕美子	15:30～16:30 □演発表5 [放射線防護] 座長：小山 珠美	15:30～16:30 □演発表6 [放射線教育] 座長：山口 拓允
17:00		16:40～18:00 ワンコインミニ懇親会	
18:00			

2日目 9月15日(日)

	第1会場 稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール	第2会場 工学系講義棟 1F	第3会場 工学系講義棟 2F	稲盛会館 1F ロビー
9:00	9:00～10:20 シンポジウム 放射線看護における コラボレーションの構築 座長：浦田 秀子、大石 景子 演者：野口 純子、上澤 紀子、 太田原 美郎	9:00～10:00 交流集会5 国際交流委員会企画 英語論文の書き方 講師：郡山 千早 企画：山口 拓允	9:00～9:50 口演発表7 [放射線リスク] 座長：吉田 浩二	
10:00			9:50～10:30 口演発表8 [放射線看護] 座長：松尾 帆浪	
11:00	10:30～11:30 日本放射線看護学会と 日本放射線技術学会との共同企画 鼎談テーマ：病院において実施される放射線 防護・安全教育を効果的・効率的に推進す る上で“影響する要因”について語ろう！ 登壇者：大串 晃弘、五十嵐 隆元、 川田 秀道、浅田 裕美 座長：堀田 昇吾、作田 裕美 企画：作田 裕美	10:10～11:10 交流集会6 オンサイト医療の概要と 看護師等医療スタッフの 体制構築の取り組みについて 企画：山本 尚幸 11:15～11:45 表彰式 優秀論文賞講演会	10:40～11:30 口演発表9 [放射線治療] 座長：佐藤 裕美子 企画：吉田 浩二 優秀論文賞受賞者：加藤 知子	
12:00		12:00～13:00 ランチョンセミナー 医療現場における放射線被ばくと 防護に関する最近の話題について 座長：山田 裕美子 講師：横山 須美 協賛：株式会社千代田テクノル	12:00～13:00 交流集会7 広島、長崎原爆投下後における 看護職者の災害復興活動 企画：松成 裕子	12:30～ 15:30 学術推進委員会・放射線看護キャリア開発グループ共同企画 「ゆめと相談Cafe」 リーダー：増島 ゆかり
13:00	13:00～14:00 市民講座 防災セミナー 鹿児島大学地域防災教育研修センター共催 放射線リスクコミュニケーション —いかにしてナラティブと サイエンスをつなぐか— 企画：山口 拓允 話題提供：藤谷 紋子	13:00～14:00 交流集会8 防護服着脱体験 企画：井手 貴浩		
14:00	14:10～15:40 市民講座 防災ワークショップ 鹿児島大学地域防災教育研修センター共催 放射線リスクコミュニケーション の事例 山口 拓允、山田 裕美子	14:10～15:10 交流集会9 原子力災害対応と避難支援の統合 ソリューション：入院患者・要支 援者のための避難支援アセットと 教育ツールの開発 企画：柳田 信彦		
15:00				
16:00	15:40～16:10 次年度学術集会紹介 大会長：佐藤 美佳 16:10～ 閉会のことば			

プログラム

1日目 9月14日(土)

9:00～ **開会のことば** 第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

9:01～9:05 **オリエンテーション**

9:05～9:25 **学術集会長プロローグ**

松成 裕子 鹿児島大学 医学部 保健学科 兼 地域防災教育センター

9:40～10:50 **鼎 談** 第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

放射線看護の未来

草間 朋子 前日本放射線看護学会 理事長
山下 俊一 福島県立医科大学 副学長
吉田 浩二 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

11:00～12:10 **基調講演** 第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

座長：野戸 結花(弘前大学大学院 保健学研究科)
増島 ゆかり(日本医科大学武蔵小杉病院)

がん看護 CNS として役割の遂行、拡大を図った経験から 放射線看護専門看護師への期待

三浦 浅子 福島県看護協会

13:00～14:30 **シンポジウム** 第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

座長：山口 拓允(東京医科大学)

がん治療の最前線・IVR・被ばく医療から放射線専門看護師に期待すること

がんとたたかう放射線治療の進化 ～即時適応放射線治療を中心に～

伊藤 宗一郎 鹿児島大学病院 放射線診療センター 放射線治療専門医

IVR・被ばく医療において看護師に期待すること

入来 泰久 鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部

被ばく医療から放射線専門看護師に期待すること

松田 尚樹 長崎大学 名誉教授

福島県浪江町における放射線リスクコミュニケーションと健康支援活動

企画：田中 和貴 弘前大学 被ばく医療総合研究所

**放射線看護モデルシラバスの活用に向けて
—モデル授業その5災害看護：放射線・原子力災害と被ばく医療—**

企画：野戸 結花 弘前大学大学院 保健学研究科

放射線看護におけるプライマリー診療看護師の課題と連携について考える

企画：安部 涼子 畏敬会 井野辺病院

看護師が実施している放射線看護教育の現状と未来

企画：佐藤 裕美子 弘前大学医学部附属病院、放射線看護キャリア開発グループ

2日目 9月15日(日)

9:00～10:20 シンポジウム

第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

座長：浦田 秀子(長崎大学 名誉教授)
大石 景子(長崎医療センター)

放射線看護におけるコラボレーションの構築

放射線看護におけるコラボレーション ～ IVR におけるチーム医療～

野口 純子 厚生中央病院

がん放射線療法看護におけるコラボレーション

上澤 紀子 公立大学法人福島県立医科大学附属病院

診療放射線技師の立場から

太田原 美郎 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長

10:30～11:30 日本放射線看護学会と日本放射線技術学会との共同企画 第1会場(キミ & ケサメモリアルホール)

座長：堀田 昇吾(東京医療保健大学)
作田 裕美(大阪公立大学)

鼎談テーマ：病院において実施される放射線防護・安全教育を 効果的・効率的に推進する上で“影響する要因”について語ろう！

登壇者：研究結果概要説明 大串 晃弘(四国大学)

鼎 談

《公益社団法人日本放射線技術学会》

五十嵐 隆元(国際医療福祉大学成田病院)、川田 秀道(久留米大学病院)

《一般社団法人日本放射線看護学会》

浅田 裕美(兵庫県立大学)、大串 晃弘(四国大学)

企 画：作田 裕美 広報・渉外委員会

11:15～11:45 表彰式

第2会場(工学系講義棟 1F)

優秀論文賞講演会

企 画：吉田 浩二 編集委員会

優秀論文賞受賞者：加藤 知子 東邦大学 看護学部 看護学科

論文タイトル：患者中心の放射線治療を目指した「放射線治療手帳」の作成

論文掲載情報：研究報告 日本放射線看護学会誌. 11(2):42-52. 2023.

医療現場における放射線被ばくと防護に関する最近の話題について

講 師：横山 須美 長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授

協賛：株式会社千代田テクノロ

鹿児島大学地域防災教育研修センター共催

放射線リスクコミュニケーション —いかにしてナラティブとサイエンスをつなぐか—

企 画：山口 拓允 東京医科大学

話題提供：藤谷 紋子 環境省 大臣官房環境保健部 放射線健康管理担当 参事官室

鹿児島大学地域防災教育研修センター共催

放射線リスクコミュニケーションの事例

山口 拓允 東京医科大学

山田 裕美子 活水女子大学

学術推進委員会・放射線看護キャリア開発グループ共同企画

リーダー：増島 ゆかり 日本医科大学武蔵小杉病院

国際交流委員会企画 英語論文の書き方

講 師：郡山 千早 鹿児島大学 副学長

企 画：山口 拓允 国際交流委員会

**オンサイト医療の概要と看護師等医療スタッフの
体制構築の取り組みについて**

企画：山本 尚幸 公益財団法人原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所

広島、長崎原爆投下後における看護職者の災害復興活動

企画：松成 裕子 鹿児島大学地域防災教育研究センター

防護服着脱体験

企画：井手 貴浩 長崎大学 原子力災害対策戦略本部

**原子力災害対応と避難支援の統合ソリューション：
入院患者・要支援者のための避難支援アセットと教育ツールの開発**

企画：柳田 信彦 鹿児島大学地域防災教育研究センター

大会長：佐藤 美佳 福島県立医科大学

一般演題(口演) プログラム

1日目 9月14日(土)

11:00～11:50 口演発表1

第3会場(工学系講義棟 2F)

[放射線教育]

座長: 松尾 美香(長崎県看護協会)

1-1 看護学生・看護師の放射線に関する基礎知識

西沢 義子 弘前医療福祉大学大学院 地域健康支援学研究科

1-2 動画教材「放射線の基礎」の試作 ～看護学生・看護師に対する学習効果の検証～

小山内 暢 弘前大学大学院 保健学研究科

1-3 青森県内の初等・中等教育校を対象とした放射線教育の実施状況調査

畠山 蒼舞 弘前大学 医学部 保健学科 放射線技術科学専攻

1-4 放射線リスクコミュニケーションの教育プログラムの評価

成田 秀貴 弘前大学大学院 保健学研究科

13:00～13:50 口演発表2

第3会場(工学系講義棟 2F)

[放射線治療]

座長: 土橋 仁美(鹿児島大学病院)

2-1 放射線治療室と病棟間の連携における皮膚炎ケアマップの有用性

渡部 美尚子 地方独立行政法人静岡市立静岡病院 内視鏡放射線検査室

2-2 咽頭・喉頭がん患者の放射線治療期間における多職種連携のケアマップ作成 ～病棟看護師が多職種につなぐ適切な時期を可視化する～

石堂 たまき 鹿児島大学病院

2-3 放射線治療における多職種連携と今後の課題

瀧 みぎわ 大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪警察病院

2-4 放射線治療による膀胱出血を発症した事例からの学び

栗崎 久代 公立学校共済組合九州中央病院

[認定看護師の活動・高度実践]

座長：守屋 靖代(昭和大学病院)

3-1 放射線治療チームにおける認定看護師の多職種連携役割について

今野 智恵 医療法人徳洲会 南部徳洲会病院

3-2 放射線治療における「がん放射線療法看護認定看護師」の効果的な活用を目指して
—放射線治療提供体制における「看護モデル」の構築に向けて—

三上 恵子 昭和大学病院

3-3 A 病院での PRRT 開始に向けての取り組みと今後の課題

加来 永未子 九州大学病院 看護部

3-4 子宮腔内照射併用化学放射線療法での晩期障害予防セルフケア指導の現状
—指導の積極性と理想／現状のギャップとの関連性について—

上澤 紀子 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院

3-5 被ばく医療に求められる看護実践と役割の抽出

松尾 帆浪 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 被ばく医療部

[原子力災害]

座長：佐藤 良信(福島県立医科大学附属病院)

4-1 原子力災害拠点病院における看護師の放射線および原子力災害医療に対する認識

山口 拓允 東京医科大学 医学部 看護学科

4-2 原発事故に伴う避難指示解除後の福島県葛尾村における
長期避難と肥満についての追跡比較

伊東 尚美 福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座

4-3 原子力災害時に避難者を受け入れる自治体における
放射線や原子力災害への不安の要因

土谷 比呂 鹿児島大学大学院 保健学研究科 博士前期課程

4-4 原発周辺地域への聞き取り調査から得られた原子力防災における
放射線看護教育の取り組みの課題

山本 知佳 福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座

4-5 放射線による次世代影響不安に影響を与える要因の検討
～原子力災害対策重点区域で就労する訪問看護師の実態調査より～

佐藤 美佳 福島県立医科大学大学院 医学研究科 国際被ばく保健看護学講座

[放射線防護]

座長：小山 珠美(敦賀市立看護大学)

- 5-1** 核医学治療に従事する看護師・看護助手の被ばく線量に関する研究
小池 祐未 福島県立医科大学附属病院 看護部
- 5-2** PET-CT 室看護師の業務改善による職業被ばく低減への取り組み
新田 知恵 中国電力株式会社 中電病院 看護科
- 5-3** ピンホールカメラによる NICU でのポータブル X 線撮影における
散乱 X 線発生源の可視化
鉢呂 七海 弘前大学 医学部 保健学科 放射線技術科学専攻
- 5-4** 火山噴火災害時と原子力・放射線災害時の避難所における防護対策の比較
—避難所における防護対策の共通点と相違点について—
田村 文子 学校法人 東京女子医科大学病院
- 5-5** 放射線管理区域に入院する学童前期患児への安全性を保持するための対応
高田 淳子 国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院

[放射線教育]

座長：山口 拓允(東京医科大学)

- 6-1** 演題取り下げ
- 6-2** 病院における放射線防護・安全教育を効果的・効率的に推進する上での
影響要因(第1報) —実施するうえでの困難—
浅田 裕美 兵庫県立大学 看護学部
- 6-3** 病院における放射線防護・安全教育を効果的・効率的に推進する上での
影響要因(第2報) —効率的な教育の運営—
堀田 昇吾 東京医療保健大学 立川看護学部
- 6-4** 病院における放射線防護・安全教育を効果的・効率的に推進する上での
影響要因(第3報) —教育を効果的に行うための工夫—
大串 晃弘 四国大学 看護学部
- 6-5** A 病院の看護職に対する放射線教育(現任/新人)の現状と課題 —実践報告
大谷 志津子 横浜市立市民病院 看護部

2日目 9月15日(日)

9:00～9:50

口演発表7

第3会場(工学系講義棟 2F)

[放射線リスク]

座長：吉田 浩二(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科)

7-1 放射性物質による体表面汚染を伴う傷病者診療の経験

佐藤 良信 福島県立医科大学附属病院

7-2 放射線診療に携わる看護師のリスク認知と放射線のイメージに関する分析

土橋 仁美 鹿児島大学病院

7-3 放射線診療に従事する看護師の放射線リスク認知と感情労働の関係性

三上 咲希 国立大学法人 弘前大学医学部附属病院

7-4 原子力施設視察研修は看護学生の原子力・放射線に対する安心感に寄与するか

小山 珠美 敦賀市立看護大学 看護学部

9:50～10:30

口演発表8

第3会場(工学系講義棟 2F)

[放射線看護]

座長：松尾 帆浪(量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 被ばく医療部)

8-1 造影 CT におけるヨード造影剤による副作用の出現状況と要因

平 千亜紀 旭川医科大学病院

8-2 放射線照射ヘアレスマウスの表皮免疫細胞挙動に対するスキンケア効果の検証

岩下 恵子 大分県立看護科学大学 成人看護学研究室

8-3 前立腺癌患者向け治療用パンフレットの改訂や オリエンテーション方法見直しによる、看護業務改善と評価

小野 永真 九州国際重粒子線がん治療センター

10:40～11:30

口演発表9

第3会場(工学系講義棟 2F)

[放射線治療]

座長：佐藤 裕美子(弘前大学医学部附属病院)

9-1 短期放射線療法を受けるがん患者の医療に対する思い

辻本 あかね 千葉大学大学院 看護学研究科

9-2 頭頸部がんにおける化学放射線療法を受けた男性患者の 外見の変化に対する思いについて

山賀 玲奈 新潟大学医歯学総合病院

- 9-3** 外来放射線治療を受ける患者の看護
—前立腺がんトリモダリティー治療前処置で抑うつ状態となった事例を通して—
丸山 朋恵 広島がん高精度放射線治療センター
- 9-4** 良質なコミュニケーションが困難であった事例の振り返り
—アーネスティン・ウィーデンバックの看護理論に基づいた再構成—
芹口 直美 広島がん高精度放射線治療センター

学術集会長 プロローグ

一般演題（口演）

《 次 回 》

一般社団法人日本放射線看護学会 第14回学術集会

テーマ：温故創新 ～放射線看護のパラダイムシフト～

大会長：佐藤 美佳（福島県立医科大学）

会 期：2025年9月20日（土）・21日（日）

場 所：コラッセふくしま

一般社団法人日本放射線看護学会 第13回学術集会
プログラム・抄録集

令和6年9月発行

編 集：一般社団法人日本放射線看護学会 第13回学術集会
企画委員会

発行責任者：一般社団法人日本放射線看護学会 第13回学術集会
会長：松成 裕子
鹿児島大学医学部 保健学科看護学専攻 基幹看護学講座
〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1
TEL&FAX：099-275-6754

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>